

新役職に元阪急・加藤氏

BS 兵庫 1軍新監督は元巨人・鈴木氏

野球の独立リーグで三田市を拠点とする兵庫ブルーサンダーズ(BS)は2日、新設したシニアディレクターに、プロ野球の阪急に、プロ野球の阪急(現オリックス)などで活躍した加藤秀司氏(69)が、また1軍の新監督には元巨人の鈴木伸良氏(58)がそれぞれ就任したと発表した。加藤シニアディレクターは、1968年の

ドラフトで阪急に2位指名されて入団。左の強打者として6回のリーグ優勝など阪急の黄金期を支え、73、79年には首位打者となった。広島、近鉄(後にオリックスと合併)などを経て通算2000本安打を達成した87年に現役を引退。その後、オリックスの2軍監督などを歴任した。BSでは1軍から育成チームまでを統括し、提携する芦屋大の学生らでつくるBS2軍「インパルス」の監督も務める。

鈴木監督は、77年のドラフトで巨人に4位指名され投手として入団。捕手や内外野をこなす選手として南海(現ソフトバンク)や阪神でもプレーし、87年に現役引退した。20年以上前から、広島市



加藤シニアディレクター(手前中央)と鈴木伸良1軍監督(左から2人目) 三田市天神3の三田天満神社で

で少年野球を指導している。加藤氏は経験を生かし、

選手の長所を引き出せるよう根気よく指導していきたい」と話し、鈴木監督も「メリハリをつけた指導で、選手が(ドラフトに)指名される(夢に近づける)よう手助けしたい」と抱負を述べた。

チームはこの日、三田天満神社(天神3)で新首脳陣や選手の約25人が必勝祈願。草薙海主将(20)は「キャプテンとしてしっかりとチームを支えたい」と話し、プロ入りのへの思いを絵馬にしたためた。

【栗飯原浩】